



小栗栖だより

No. 5



少しずつこれまで通りに・・

これも異常気象の表れでしょうか。6月28日に観測史上初めて6月中に梅雨明け宣言がなされました。京都では祇園祭の宵山あたりに夕立があり、雷が鳴り「これで梅雨明けやなあ」という会話がなされたものですが、祇園祭が始まる7月1日を待たずに梅雨明けするのも令和の時代なのかも知れません。もちろん、この先の農作物への影響や、夏場の水不足に転じないことを祈りたいです。また、6月史上初めての連続酷暑日など、これから夏に向けて心配は絶えません。

さて、この2年間コロナの関係で停止していたことが少しずつ動き始めています。5月31日から4日間のチャレンジ体験（2年生）や、6月2日からの2泊3日の修学旅行（3年生）が予定通り実施できたことは何よりの喜びです。



チャレンジ体験におきましては、中学生を迎えることへの不安についてはどの業種であっても生じるにもかかわらず、79人が28事業所にお引き受けいただいたことは、感謝すべき内容です。これから先のキャリア教育に向けて大変貴重な体験となりました。

また3年生の修学旅行においても、これまで実施はできたものの延期をして、時期をずらしてのことでしたから、少なからず計画のずれは生じてきました。もちろん感染対策を講じてはいたものの全員無事校し、その後も症状が出ることなく平常通り学校生活を送っています。SDGsについて実際に学んできたことを、卒業するまでにどのように生かすことができるかは、自分たちの気持ち次第と思っています。からの学習に期待しています。

創る喜び・守る責任



5月から始まった元小栗栖小学校の校舎の解体が順調に進んでいます。風景が変わることはもちろんですが、これまで体育館があることで見えなかった校舎も3階の廊下から見える状態です。このまま進めば7月中旬過ぎには校舎部分はすべて解体が済むと聞いています。思い出の校舎が無くなることは寂しい限りです。しかし、そこには令和7年度開校の新しい学校の校舎が建設されます。その新しい学校で着用する標準服候補3点の展示と、児童生徒、保護者によるアンケート調査も実施されました。夏休み明けには採用されるデザインの発表もされることになります。着々と前進していることに、喜びを感じるとともに、責任も感じています。



新しいことは楽しみもありますし、喜びもあります。しかし、小栗栖中学校として築いてきた伝統も受け継ぐ必要があります。今年、ホタルの幼虫から育ててみましたが、乱舞とまではいきませんでしたが、多くのホタルを鑑賞することができました。ホタルは綺麗な水、綺麗な空気など環境が整わないと育たないと聞いています。今回、小栗栖池はその環境にあるということですから守っていきたいと思います。

<当面の予定>

7月 1日（金）	1組合同球技大会（島津アリーナ）
7月 4日（月）	避難訓練（洪水対策）
7月 5日（火）	2年学習確認プログラム①
7月 6日（水）	2年学習確認プログラム②
7月 12日（火）～	三者懇談【19日（火）まで】
7月 20日（水）	一学期終業式
7月 21日（木）～	夏季休業【8月23日（火）まで】